

第2章 | 施策別計画

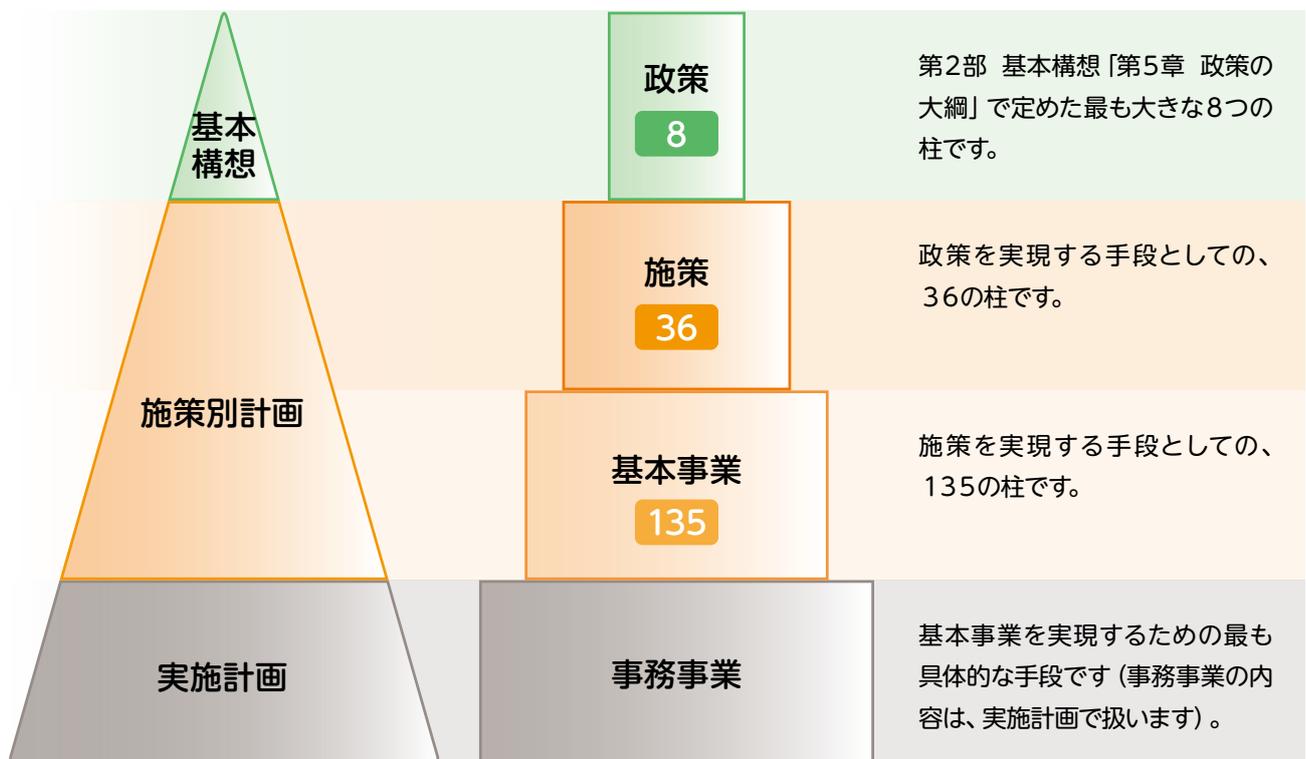
1 施策別計画と行政評価の考え方

基本構想では、将来の都市像実現のため、8つの政策ごとに取り組みの方針を定めました。それらの政策を実現する手段が、36の施策であり、全ての施策を着実に実施する必要があります。

それぞれの施策には、解決しなければならない多くの課題がありますが、それらに対応するための財源や人、施設といった行政資源は限られています。そこで、これらの行政資源を有効に活用するとともに、市民に分かりやすい行財政運営を行うための一つの方策として、「行政評価」の考え方を導入しています。この考え方により、「施策」「基本事業」などの目標の達成度を数値で表し、市民起点、成果重視といった観点から市政を推進しています。

1 体系

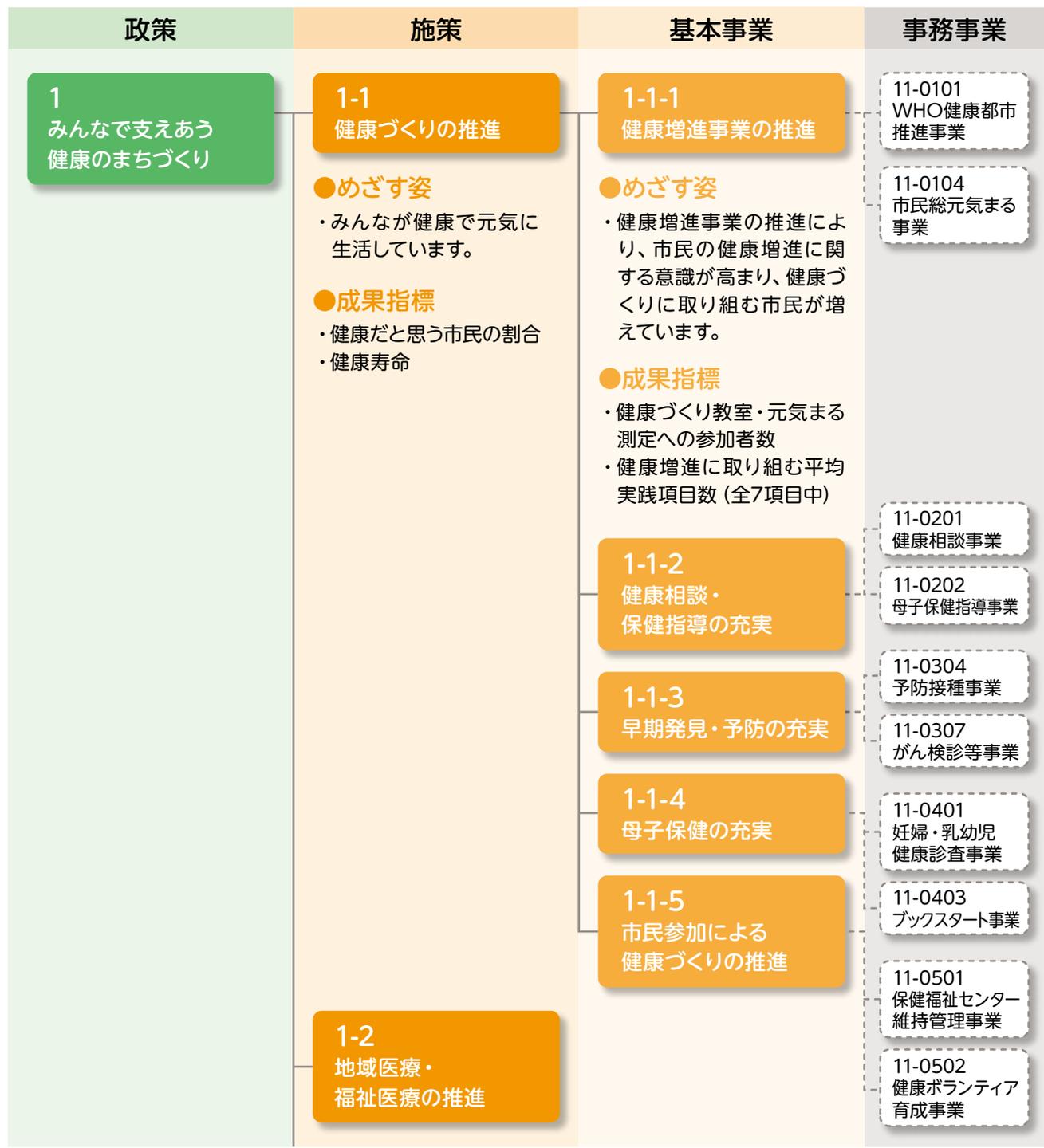
総合計画の体系は次のとおりです。



2 「成果指標」について

市民に分かりやすい評価を行うため、「施策」と「基本事業」に、それぞれの目標となる「めざす姿」を設定し、その「めざす姿」の達成度を測るモノサシとして「成果指標」を設定します。

● 体系と成果指標の例



2 施策別計画の構成

「政策」の名称です。

「施策」の名称です。

「施策がめざす尾張旭市の姿」の達成度を表す指標(モノサシ)です。

目標を設定するうえで基準となる数値です。「市民アンケート」や「業務データ」から取得します。

指標の内容の説明です。

指標の目標値の考え方です。

政策 1 みんなで支えあう健康のまちづくり

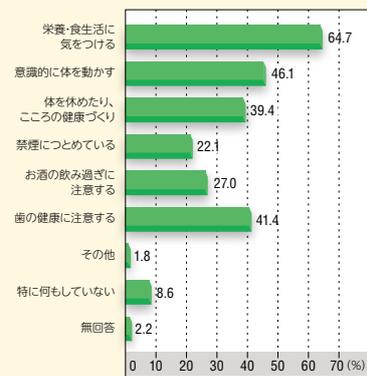
現状と課題について、施策ごとに確認を行いました。

施策1- 1 健康づくりの推進

施策をとりまく現状と課題

- 本市は平成16年6月にWHO西太平洋地域健康都市連合の設立メンバーとして加盟後、健康都市宣言を行い、「健康都市」の取り組みを進めています。これからは、この取り組みの成果を確認し、周知を図ることが必要です。
- 市民一人ひとりが元気に生活するためには、日頃の健康づくりが重要です。積極的に健康づくりを行うための事業を推進していく必要があります。
- 高齢化が進むなかで、日常的に介護を必要とせず、心身ともに自立した生活を送ることが以前にも増して求められています。
- 平成25年から、地方自治体で初めての軽度認知障がい予防のための「あたまの元気まる(脳の健康チェックテスト)」を導入しました。このような新たな取り組みを市民の健康づくりに取り入れる検討を進めていく必要があります。
- これまで以上に、市民との協働により健康づくり事業を進めることが必要です。

あなたが健康の維持増進のために日頃行っていることは(複数回答)



資料：平成24年度まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

みんなが健康で元気に生活しています。

この「施策」がめざす、将来の尾張旭市の姿です。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標 1 健康だと思ふ市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
90.1%	91%	92%

※「普通」を除いた現状値：55.2%

市民の健康認識について見る指標です。まちづくりアンケートで健康な生活を「送っている」「まあまあ送っている」「普通」と回答した市民の割合です。

指標 2 健康寿命

現状値 (平成22年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
男82.92歳 女85.89歳	男83.72歳 女86.69歳	男84.22歳 女87.19歳

生涯のうち日常的に介護を必要とせず、心身ともに自立して生活できる期間を示す指標です(65歳のかたの平均自立期間に65を加算した数値を健康寿命としました)。

いつまでも元気に暮らせるまちづくりのため、積極的に施策を展開し、成果の向上をめざします。

計画期間の前期(平成30年度)及び後期(平成35年度)目標値です。目標値が外部要因の影響を大きく受けるものなどは、目標値を定めず、推移を見守るものとして「-」で表します。

「基本事業」の
名称です。

この「基本事業」がめざす、
将来の尾張旭市の姿です。

「基本事業のめざす姿」の実現のために取り組むう
えで、中心になる主体です。市民や事業者、その
他の主体との適切な役割分担のもと、協働でまちづ
くりを進めていきます。

【施策を実現する手段】基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割 分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
1-1-1 健康増進事業の 推進	●健康増進事業の推進により、市民の健康増進に関する意識が高まり、健康づくりに取り組む市民が増えています。	市民 行政	●健康づくり教室・元気まる測定への参加者数 ●健康増進に取り組む平均実践項目数(全7項目中)	3,563人 2.71項目	5,000人 3項目	5,500人 3.5項目	市民協働 自己決定 分野横断 健康都市
1-1-2 健康相談・ 保健指導の充実	●健康相談や保健指導などの充実により、健康に関する相談や指導が気軽に受けられます。	行政	●健康相談対応率(相談件数) ●保健事業への参加者数	100(9,464)件 14,947人	100(9,500)件 16,600人	100(9,500)件 16,800人	自己決定 健康都市
1-1-3 早期発見・ 予防の充実	●疾病を早期に発見・予防できています。	医療 保険者 行政	●定期的に健康診断(市・民間)を受けている市民の割合 ●乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率 ●高齢者の定期予防接種の接種率	81.6% 94.0% 52.7%	83% 95% 55%	83% 95% 55%	自己決定 健康都市
1-1-4 母子保健の充実	●母子保健の充実により、母子ともに健やかに育ち、生活できています。	行政	●乳幼児健康診査受診率 ●乳幼児の健康状態が把握できている割合 ●母子保健サービス [※] に対する満足度	96.1% 99.5% 77.7%	96% 99.5% 80%	96% 99.5% 80%	自己決定 健康都市
1-1-5 市民参加による 健康づくりの推進	●健康づくりのための組織づくりが、市民の参加により進められています。	市民 行政	●ボランティアとの協働による健康づくり事業数	8事業	8事業	10事業	市民協働 自己決定 施設運営 健康都市

「基本事業のめざす姿」の達成度を表す
指標(モノサシ)です。

基本事業成果指標
の現状値及び目標値
です。それぞれの考
え方は、施策のもの
と同じです。

- 政策1
- 政策2
- 政策3
- 政策4
- 政策5
- 政策6
- 政策7
- 政策8

部門別計画

- 尾張旭市健康都市プログラム(H17～)
※尾張旭市健康都市プログラムは施策全てに関連する計画です。
- 健康あさひ21計画(H17～H26)

用語解説
※健康づくり教室/骨コソヘルスアップ教室、らくらく筋トレ教室などの健康づくりのための教室のこと。
※母子保健サービス/母子を対象とした健康診査、様々な相談に対する訪問指導や各種保健指導、医療対策などのこと。

この「施策」に
関連する他の
計画です。

P26の「まちづくりの進め方」の
市民協働 市民との協働で進めます
自己決定 自己決定・自己責任で進めます
施設運営 施設の効率的な管理運営を進めます
分野横断 分野横断的な取り組みを進めます
健康都市 健康都市の取り組みを進めます
について、基本事業と関連の大きいものについて記載します。